

No.09K0012

2010年3月8日

株式会社 アイ・エス・レーティング

1. 格付結果

企業名	株式会社野村総合研究所
格付の種別	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000110214C0901
格付スコープ	横浜第一データセンターにおけるデータセンター運用業務
格付対象	システムマネジメント事業本部
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AAAis (トリプルA)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2010年3月8日から2011年3月7日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.

2. 格付理由

システムマネジメント事業本部は株式会社野村総合研究所（以下 NRI と呼ぶ）のソリューション事業の中でも、お客様の情報システムの運用・管理のアウトソーシングを受託している。お客様のシステムの運用は堅牢なデータセンターにおけるデータ管理と高度なセキュリティ管理をもって展開されている。NRI グループでは、「未来社会創発企業」の理念のもと、「付加価値の創造と拡大」を標榜し、品質管理、セキュリティ管理、プロジェクト管理の強化やコンプライアンスの徹底といった内部体制の整備に目を配りながら、情報セキュリティガバナンス体制を構築している。システムマネジメント事業本部では社内規程を遵守の上、部門独自のルールも策定し、適正な情報管理・活用を推進することにより情報セキュリティ強化を図っている。システムマネジメント事業本部が横浜第一データセンターで提供するサービスは、お客様や NRI の開発部門が構築した情報システムの運用であり、依頼された業務処理を行うほか、システム監視や障害時・緊急時における対応を含んでいる。組織は作業手続きを作成する部門、手続きを実行する部門、運用基盤を管理する部門、センターの施設管理を行う部門にそれぞれ機能分離され、運用のサービス品質を統合的に管理する部門と今回の審査対象外のその他の部門で構成されている。システムマネジメント事業本部では、24 時間 365 日のサービス提供が求められる社会システムに対して、高いレベルの情報管理を実践している。

横浜第一データセンターではシステム運用サービス提供にあたり、品質マネジメントシステムとして「運用 QMS」を構築し、1998 年にシステム運用サービスを適用対象として ISO9001 の認証を取得している。さらに 2009 年には IT サービスの運用維持管理に関する国際規格である ISO20000 の認証を取得し、ITIL をベースとした IT サービスマネジメントシステム「運用 ITSMS」を構築している。お客様の情報システムの運用管理にあたっては、作業の漏れや見逃し、手順の間違いなどヒューマンエラーによる障害をなくすため自動化を推進し、自社製品である運用管理ツール「千手」によりシステム運用の自動化、省力化、ミスの削減を進めている。また、様々なツールを用いた業務の標準化や障害対応事例集の活用などにより、障害の未然防止や迅速かつ適切な対応を図っている。情報セキュリティへの取り組みは、NRI 全社におけるプライバシーマーク取得のほか、ISMS 認証の取得、金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準に準拠するなどの第三者における評価を踏まえた積極的な取り組みを実施している。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
 TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.

マネジメント成熟度の観点から見れば、NRI グループにおける「情報セキュリティ対策についての宣言文」に見られる情報セキュリティ基本方針や各種規程類のもと、データセンターにおける情報セキュリティ規程類の整備、セキュリティ教育・監査・自己点検・物理的アクセス管理等で非常に高いレベルで管理が進められてきている。特に権限の分離を方針とした運用システムの構築と活用については、手続き策定を行う組織と手続きの遂行を行う組織の分離に加え、VLAN によるアクセス権限分離、ログイン ID の発行権限と利用権限の分離、管理者による実施許可権限の分離等が設定されるなど多層に及ぶ権限の分離が行われている。これらの論理的な権限の分離と物理的なアクセス制限により、強固な情報セキュリティ管理体制が構築されている。また、システムマネジメント事業本部独自の「シスマネ憲章」の制定、従業員の自発的な啓発を促す「寺子屋プロジェクト」など、現場におけるコンプライアンスやセキュリティ意識の向上に貢献する管理策が展開され、人的な管理策にも重きが置かれている状況である。加えて、管理者によるモニタリングとフィードバックも適時有効に行われている。

セキュリティ対策の強度の観点から見れば、IC カードや共連れ防止設備による入退館管理に加え、セキュリティレベルに応じた IC カードや生体認証による入退室管理、3D ホログラフィックスキャナー、X線検査装置による情報の持出管理等、先進的な設備を利用し、悪意のある外部者に非常に強固な対策がとられている。また、これらの施策により、在館者であっても必要のないエリアには、侵入することができない抑止的・発見的効果を発揮した管理策となっており、悪意のある内部者に対しても非常に強固な対策となっている。

総じて、マネジメント成熟度では、リスクアセスメントの実施から改善への継続的なプロセスを有し、常時高水準の管理状態を維持・発展させている。またセキュリティ対策強度では、さらなる強化を図る余地のある部分があるものの、総合的に判断し悪意のある外部者・内部者に対する管理策について講じられており、現時点で考えうる最高水準のレベルにあると評価できる。

以上